



鹿児島女子短期大学

FACULTY DEVELOPMENT

FD 活動報告書 2020

Contents

1. 学生による授業評価
2. 授業公開
3. FD・SD 研修会
4. 休校中の授業・生活に関するアンケート

1. 学生による授業評価

＜授業評価アンケート実施内容＞

(単位：名)

年度	学期	専任教員数	実施教員数 (専任)	授業改善書 提出教員数 (専任)	非常勤教員 実施・授業改善書 提出数
2020年度	前期	43	43	43 (100%)	—
	後期	43	43	42 (97.7%)	18

(後期1名：授業改善書等未提出：2021年3月退職者／前期：非常勤教員は未実施)

◆授業評価等依頼文書（例示：2020年度後期授業評価アンケート及び授業改善書提出依頼）

授業評価及び授業改善報告書について（令和2年度後期）

1 後期授業評価について

実施期間： 1月8日(金)～1月21日(木)

実施方法： 学生がUniPaのアンケート機能を用いて回答します。アンケートの回答方法についてはUniPaでも知らせますが、15回授業の科目では、先生方からも授業中にご指示をお願いいたします。授業内で回答の時間をお取りいただければ回収率は上がりますので、よろしくお願ひいたします。授業内で実施されない場合でも、アンケートへの回答を依頼し、とくに第20問（達成度自己評価）の回答に必要な、当該科目で修得すべき主なDPの内容と番号を、板書して学生に伝えて下さい。

なお、全科目のDP一覧表が、UniPa上で閲覧できるようになりますので、各自ご確認ください。DP一覧表は、学生も回答時に閲覧可能です。

2 授業改善報告書について

集計結果の公開期間： 1月22日(金)～3月31日(水)

*この期間、科目担当者のみUniPaで閲覧・印刷できます。

報告書の提出期限： 3月31日(水)

報告書の作成方法： アンケートの集計結果を踏まえ、担当科目全てについて、授業改善報告書を作成してください（サイボウズからダウンロード可）。

報告書の提出方法： 各自、担当科目全ての授業改善報告書に、印刷した集計結果（全科目分）を添付し（自由記述を除く）、左上をクリップで綴じて、事務室に設置する所定の箱に提出してください。

以上

◆授業評価アンケート (Universal Passport 使用) (例示: 2020 度前期)

123456789 科目 A (教員 B)

※【令和 2 年度前期】授業評価アンケート

※次の質問について5段階で1番近いと思われるものを選んでください。

あなたについて・・・

1. あなたは授業を何回欠席 (公欠も含む) しましたか。 (必須)
 欠席なし 1回 2回 3回 4回以上
2. あなたは『講義要項』をよく読みましたか。 (必須)
 全く読んでいない あまり読んでいない どちらともいえない おおむね読んだ 十分に読んだ
3. あなたは予習や復習を十分にしましたか (必須)
 全くしていない あまりしていない どちらともいえない おおむねやった 十分にやった
4. あなたは授業の内容を理解することができましたか。 (必須)
 全くできていない あまりできていない どちらともいえない おおむねできた 十分にできた
5. あなたの受講態度を次の中で評価してください。 (必須)
 悪い どちらかという悪い どちらともいえない どちらかという良い 良い

授業について・・・

6. 授業は講義要項に沿って行なわれましたか。 (必須)
 全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う
7. 授業はよく準備されていましたか。 (必須)
 全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う
8. 毎回の授業の目標は明確になっていましたか。 (必須)
 全くそうは思わない そうは思わない どちらとも言えない そう思う 強くそう思う
9. 教員の説明は分かりやすかったですか。 (必須)
 全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う
10. 発見や感動などがあり、興味の持てる授業でしたか。 (必須)
 全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う
11. 教員と学生の間にやり取りがあるなど、授業に活気がありましたか。 (必須)
 全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う

12. 教員の声は十分に大きく、明瞭な話し方でしたか。 (必須)
 全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う
13. 板書の仕方、パワーポイントの表示の仕方、プリントの用い方は適切でしたか。 (必須)
 全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う
14. 始業・終業時間を含め、時間配分は適切でしたか。 (必須)
 全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う
15. 教員の熱意を感じましたか。 (必須)
 全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う
16. 教員は、学生に公平に接していましたか。 (必須)
 全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う
17. テキスト、ビデオ、プリント資料などの教材は理解の助けになりましたか。 (必須)
 全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う
18. この授業にとって教室の環境、設備などは適切でしたか。 (必須)
 全くそうは思わない そうは思わない どちらともいえない そう思う 強くそう思う
19. この授業を総合的に次の5段階で評価してください。 (必須)
 悪い どちらかという悪い どちらともいえない どちらかという良い 良い
20. この授業の主要な到達目標 (DP一覧表参照) について、自分の達成度を次の5段階で評価してください。 (必須)
 ほとんど達成できなかった あまり達成できなかった どちらともいえない おおむね達成できた 十分達成できた

21. この授業で良かったと思うことを入力してください。

22. この授業で良くなかったと思う点、改善すべき点とと思う点を入力してください。

23. この授業について、教室・施設・設備も含め、不満・要望・その他があれば入力してください。

◆「授業改善に向けて」用紙（例示：2020年度後期）

授業改善報告書（後期）

No. 1

作成日：令和 年 月 日

当教員名（所属） ○○ ○○ （○○○学科）

授業評価アンケート結果を受けての授業改善計画

※ 複数開講科目の場合、受講者数は授業ごとに個別に人数を記してください。例：（95+110名）

※ ①は新規科目の場合、記載不要です。

※ ②の分析は、学生による授業評価アンケートをもとに、総合的に振り返ってください。

学生からの質問の代表的なものに対して、具体的にお答えいただく内容でも結構です。

授業科目名（受講者数）	(名)
① 今年度の改善目標（前年度の報告書に基づく）	
② 授業評価アンケート結果の分析	③ 次年度へ向けての改善目標・改善内容

授業科目名（受講者数）	(名)
① 今年度の改善目標（前年度の報告書に基づく）	
② 授業評価アンケート結果の分析	③ 次年度へ向けての改善目標・改善内容

◆授業評価集計結果（例示：2020年度後期：Universal Passport 上での結果表示）

UNIVERSAL PASSPORT EX
DANKUEN SERIES

個人情報 | 授業関連 | 採点登録 | 学生支援 | アンケート | 掲示登録(教員)

ホーム | メール設定 | サイトマップ | ログ

授業評価一覧 > 授業評価結果参照

262

期間：2021/01/08(金) 00:00~2021/01/21(木) 23:59
対象人数：56人 回答人数：34人 回答率 60.7%

※【令和2年度後期】授業評価アンケート
※次の質問について5段階で一番近いと思われるものを選んでください。

あなたについて---

- あなたは授業を何回欠席(公欠も含む)しましたか。(必須)

欠席なし	1回	2回	3回	4回以上	比率	人数
65%	12%	12%	12%	0%	22人	4人
- あなたは「シラバス」をよく読みましたか。(必須)

全く読んでいない	あまり読んでいない	どちらともいえない	おおよそ読んだ	十分に読んだ	比率	人数
6%	6%	18%	44%	26%	2人	2人
- あなたは予習や復習を十分にしましたか。(必須)

全くしていない	あまりしていない	どちらともいえない	おおよそやった	十分にやった	比率	人数
3%	9%	21%	38%	29%	1人	3人
- あなたは授業の内容を理解することができましたか。(必須)

全くできていない	あまりできていない	どちらともいえない	おおよそできた	十分にできた	比率	人数
0%	0%	0%	53%	47%	0人	0人
- あなたの受講態度を次の中で評価してください。(必須)

悪い	どちらかという悪い	どちらともいえない	どちらかという良い	良い	比率	人数
0%	3%	3%	50%	44%	0人	1人

授業について---

- 授業は講義要項に沿って行なわれましたか。(必須)

全くそがは思わない	そがは思わない	どちらともいえない	そが思う	強くそが思う	比率	人数
0%	0%	6%	32%	62%	0人	0人
- 授業はよく準備されていましたか。(必須)

全くそがは思わない	そがは思わない	どちらともいえない	そが思う	強くそが思う	比率	人数
0%	0%	0%	38%	62%	0人	0人

8.毎回の授業の目標は明確になっていましたか。(必須)

回答	比率	人数
全くそうは思わない	0%	0人
そうは思わない	0%	0人
どちらともいえない	0%	0人
そう思う	41%	14人
強くそう思う	59%	20人

9.教員の説明は分かりやすかったですか。(必須)

回答	比率	人数
全くそうは思わない	0%	0人
そうは思わない	0%	0人
どちらともいえない	3%	1人
そう思う	26%	9人
強くそう思う	71%	24人

10.発見や感動などがあり、興味の持てる授業でしたか。(必須)

回答	比率	人数
全くそうは思わない	0%	0人
そうは思わない	0%	0人
どちらともいえない	3%	1人
そう思う	26%	9人
強くそう思う	71%	24人

11.教員と学生の間にやり取りがあるなど、授業に活気がありましたか。(必須)

回答	比率	人数
全くそうは思わない	0%	0人
そうは思わない	0%	0人
どちらともいえない	0%	0人
そう思う	29%	10人
強くそう思う	71%	24人

12.教員の声は十分に大きく、明瞭な話し方でしたか。(必須)

回答	比率	人数
全くそうは思わない	0%	0人
そうは思わない	0%	0人
どちらともいえない	3%	1人
そう思う	26%	9人
強くそう思う	71%	24人

13.板書の仕方、パワーポイントの表示の仕方、プリントの用い方は適切でしたか。(必須)

回答	比率	人数
全くそうは思わない	0%	0人
そうは思わない	0%	0人
どちらともいえない	3%	1人
そう思う	32%	11人
強くそう思う	65%	22人

14.始業・終業時間を含め、時間配分は適切でしたか。(必須)

回答	比率	人数
全くそうは思わない	0%	0人
そうは思わない	0%	0人
どちらともいえない	0%	0人
そう思う	24%	8人
強くそう思う	76%	26人

15.教員の熱意を感じましたか。(必須)

回答	比率	人数
全くそうは思わない	0%	0人
そうは思わない	0%	0人
どちらともいえない	3%	1人
そう思う	29%	10人
強くそう思う	68%	23人

16.教員は、学生に公平に接していましたか。(必須)

回答	比率	人数
全くそうは思わない	0%	0人
そうは思わない	0%	0人
どちらともいえない	3%	1人
そう思う	32%	11人
強くそう思う	65%	22人

17.テキスト、ビデオ、プリント資料などの教材は理解の助けになりましたか。(必須)

回答	比率	人数
全くそうは思わない	0%	0人
そうは思わない	0%	0人
どちらともいえない	6%	2人
そう思う	35%	12人
強くそう思う	59%	20人

18.この授業にとって教室の環境、設備などは適切でしたか。(必須)

回答	比率	人数
全くそうは思わない	0%	0人
そうは思わない	0%	0人
どちらともいえない	3%	1人
そう思う	29%	10人
強くそう思う	68%	23人

19.この授業を総合的に次の5段階で評価してください。(必須)

回答	比率	人数
悪い	0%	0人
どちらかというくらい悪い	0%	0人
どちらともいえない	0%	0人
どちらかというくらい良い	32%	11人
良い	68%	23人

20.この授業の主要な到達目標(DP一覧表参照)について、自分の達成度を次の5段階で評価してください。(必須)

回答	比率	人数
ほとんど達成できなかった	0%	0人
あまり達成できなかった	0%	0人
どちらともいえない	0%	0人
おおよそ達成できた	53%	18人
十分達成できた	47%	16人

21.この授業で良かったと思うことを入力してください。

22.この授業で良くなかったと思う点、改善すべきだと思う点を入力してください。

23.この授業について、教室・施設・設備も含め、不満・要望・その他があれば入力してください。

◆授業改善書提出 (例示: 2020 年度前期: 全教員授業改善書ファイル保管)

授業改善報告書 (前期) No. 1

作成日: 令和 2 年 9 月 30 日

当教員名 (所属) _____ (_____)

授業評価アンケート結果を受けての授業改善計画

※ 複数開講科目の場合、受講者数は授業ごとに個別に人数を記してください。例: (95 + 110 名)

※ ①は新規科目の場合、記載不要です。

※ ②の分析は、学生による授業評価アンケートをもとに、総合的に振り返ってください。

学生からの質問の代表的なものに対して、具体的にお答えいただく内容でも結構です。

授業科目名 (受講者数)	_____ (35 名)
① 今年度の改善目標 (前年度の報告書に基づく)	算数科の内容に興味を持って学び、教授、評価へとつなげることができるような専門性をより深く学習する事
② 授業評価アンケート結果の分析	③ 次年度へ向けての改善目標・改善内容
評価内容は比較的好意的に受け止められており、教育の意義や算数科の重要性が認識されていた。ただ、コメントの中に、指導案についてもう少し深く学習したかったというものが、確かに不足していると感じるので、その点を来年度の反省としたい。	重点を教科内容と教授法、評価法へ置いていたため、それをいかに指導案に書き込み、実際の指導へと結びつけるかという点に不足があった。次年度は両者のバランスを適切に保ちたい。

授業科目名 (受講者数)	_____ (113 名)
① 今年度の改善目標 (前年度の報告書に基づく)	誰も取り残されることのない授業を目指す
② 授業評価アンケート結果の分析	③ 次年度へ向けての改善目標・改善内容
問題を解く際、例年、平等に回っていたのだが、今回は特に数学を苦手としている学生を重点的に見て周り、できる学生は他と協力しながら問題解決に当たる方法を取り入れ、その効果が出ているように思える。	時事ネタで数学の問題も作成しているのだが、その PDCA をしっかりと回し、扱う単元、問題を刷新したい。

◆授業評価 (全体 (前期・後期) 結果: 2018-2020 年度比較)

2021年5月3日

**2018年度_2019年度_2020年度 前期実施
「学生による授業評価アンケート」集計結果(実施全科目分)比較表**

質問項目	年度	各選択肢の回答率 (%)					度数	平均値	
		0	1	2	3	4			5
(1) あなたは授業を何回欠席(公欠も含む)しましたか。	2018	60.3	21.7	10.1	5.3	2.6	4,262	0.7	
	2019	61.2	22.5	9.5	4.9	1.9	8,177	0.6	
	2020	68.1	18.6	9.7	2.9	0.7	7,224	0.5	
(2) あなたは『講義要項』(シラバス)をよく読みましたか。	2018		4.3	26.0	42.6	17.8	9.4	4,262	3.0
	2019		8.2	20.7	30.1	35.0	6.1	8,177	3.1
	2020		4.0	17.3	24.9	43.7	10.0	7,224	3.4
(3) あなたは予習や復習を十分にしましたか。	2018		4.6	21.5	40.9	21.3	11.7	4,264	3.1
	2019		8.9	20.1	31.6	30.1	9.4	8,177	3.1
	2020		3.7	13.9	29.5	39.4	13.5	7,224	3.5
(4) あなたは授業の内容を理解することができましたか。	2018		1.1	6.7	31.2	40.8	20.2	4,265	3.7
	2019		1.5	5.0	18.7	56.8	18.0	8,177	3.8
	2020		0.5	3.1	12.3	56.0	28.1	7,224	4.1
(5) あなたの受講態度を1~5の5段階で評価してください。	2018		0.2	2.5	28.2	46.1	23.0	4,262	3.9
	2019		0.3	1.5	20.3	50.0	28.0	8,177	4.0
	2020		0.1	0.6	12.4	46.4	40.5	7,224	4.3
(6) 授業は『講義要項』に沿って行なわれましたか。	2018		0.5	2.3	26.0	34.2	36.9	4,280	4.0
	2019		0.5	1.3	17.9	55.2	25.0	8,177	4.0
	2020		0.3	1.0	12.7	51.8	34.1	7,224	4.2
(7) 授業はよく準備されていましたか。	2018		0.3	1.6	11.8	29.6	56.8	4,284	4.4
	2019		0.6	1.4	9.7	50.0	38.3	8,177	4.2
	2020		0.4	1.2	6.8	43.6	48.0	7,224	4.4
(8) 毎回の授業の目標は明確になっていましたか。	2018		0.5	2.5	15.9	31.3	49.9	4,282	4.3
	2019		0.7	2.1	12.5	50.9	33.7	8,177	4.1
	2020		0.5	1.5	8.2	45.6	44.3	7,224	4.3
(9) 教員の説明は分かりやすかったですか。	2018		0.9	4.5	16.2	30.9	47.5	4,281	4.2
	2019		1.7	3.7	12.8	46.9	34.8	8,177	4.1
	2020		1.1	2.6	9.9	41.6	44.8	7,224	4.3
(10) 発見や感動などがあり、興味を持てる授業でしたか。	2018		0.8	3.9	18.6	34.2	42.5	4,284	4.1
	2019		1.5	3.2	14.7	47.1	33.5	8,177	4.1
	2020		0.9	2.4	11.4	44.4	41.0	7,224	4.2

2021年5月3日

2018年度_2019年度_2020年度 前期実施

「学生による授業評価アンケート」集計結果(実施全科目分)比較表

質問項目	年度	各選択肢の回答率(%)					度数	平均値	
		0	1	2	3	4			5
(11) 教員と学生の間にやりとりがあるなど、授業に活気がありましたか。	2018		0.7	4.0	21.5	31.7	42.1	4,283	4.1
	2019		1.2	3.8	17.6	45.7	31.8	8,177	4.0
	2020		1.0	2.7	13.9	43.6	38.8	7,224	4.2
(12) 教員の声は十分に大きく、明瞭な話し方でしたか。	2018		0.3	2.1	11.6	26.4	59.6	4,281	4.4
	2019		0.9	2.5	10.8	45.2	40.6	8,177	4.2
	2020		0.7	2.0	7.0	40.3	49.9	7,224	4.4
(13) 板書の仕方、パワーポイントの表示の仕方、プリントの用い方は適切でしたか。	2018		0.7	2.9	15.3	30.9	50.2	4,275	4.3
	2019		1.1	2.5	13.0	47.4	36.0	8,177	4.1
	2020		0.9	1.8	9.1	43.3	44.9	7,224	4.3
(14) 始業・終業時間を含め、時間配分は適切でしたか。	2018		0.5	1.7	12.7	28.7	56.5	4,278	4.4
	2019		1.1	2.4	10.2	50.6	35.8	8,177	4.2
	2020		0.8	1.5	6.9	45.1	45.7	7,224	4.3
(15) 教員の熱意を感じましたか。	2018		0.4	1.2	12.5	28.6	57.2	4,282	4.4
	2019		0.6	1.3	11.0	47.3	39.7	8,177	4.2
	2020		0.4	1.0	7.1	43.5	47.9	7,224	4.4
(16) 教員は、学生に公平に接していましたか。	2018		0.3	1.2	12.1	25.6	60.8	4,277	4.5
	2019		0.7	1.2	9.2	49.5	39.4	8,177	4.3
	2020		0.4	0.6	6.0	43.7	49.3	7,224	4.4
(17) テキスト、ビデオ、プリント資料などの教材は理解の助けになりましたか。	2018		0.5	1.7	13.6	31.0	53.2	4,277	4.3
	2019		0.7	1.3	10.5	48.3	39.2	8,177	4.2
	2020		0.5	1.0	6.7	43.1	48.8	7,224	4.4
(18) この授業にとって、教室の環境、設備などは適切でしたか。	2018		0.2	1.5	12.5	29.9	55.9	4,280	4.4
	2019		0.5	1.0	9.0	52.1	37.4	8,177	4.2
	2020		0.4	0.7	6.2	45.8	47.0	7,224	4.4
(19) この授業を総合的に1～5の5段階で評価してください。	2018		0.4	1.4	13.9	36.7	47.6	4,275	4.3
	2019		0.8	1.9	12.7	40.7	44.0	8,177	4.3
	2020		0.5	1.3	8.4	36.3	53.4	7,224	4.4
(20) この授業の主要な到達目標について、自分の達成度を1～5の5段階で評価してください。	2018		0.4	1.9	24.5	47.9	24.3	10,491	4.0
	2019		0.6	2.3	21.0	57.9	18.2	8,177	3.9
	2020		0.3	1.8	13.8	59.6	24.6	7,224	4.1

※「度数」:各質問項目の有効回答者数(2018年度は2019・2020年度と調査方法が異なる)

2021年5月3日

2018年度_2019年度_2020年度 後期実施

「学生による授業評価アンケート」集計結果(実施全科目分)比較表

質問項目	年度	各選択肢の回答率(%)					度数	平均値	
		0	1	2	3	4			5
(1) あなたは授業を何回欠席(公欠も含む)しましたか。	2018	49.9	23.1	15.2	8.6	3.1		7,474	0.9
	2019	57.5	22.1	12.1	6.0	2.2		7,533	0.7
	2020	64.0	17.3	11.1	5.7	1.9		5,812	0.6
(2) あなたは『講義要項』(シラバス)をよく読みましたか。	2018		6.9	24.2	42.7	18.9	7.3	7,484	3.0
	2019		7.8	21.2	31.4	32.0	7.6	7,533	3.1
	2020		5.7	16.5	21.6	43.4	12.7	5,812	3.4
(3) あなたは予習や復習を十分にしましたか。	2018		5.6	18.6	45.3	22.2	8.3	7,478	3.1
	2019		6.2	15.6	32.1	34.9	11.2	7,533	3.3
	2020		3.5	12.5	26.0	40.3	17.7	5,812	3.6
(4) あなたは授業の内容を理解することができましたか。	2018		1.1	6.1	32.9	42.1	17.8	7,479	3.7
	2019		1.4	3.8	16.6	56.6	21.6	7,533	3.9
	2020		0.5	2.2	11.2	56.7	29.4	5,812	4.1
(5) あなたの受講態度を1～5の5段階で評価してください。	2018		0.3	2.3	31.6	46.3	19.4	7,478	3.8
	2019		0.1	1.3	18.4	48.8	31.5	7,533	4.1
	2020		0.0	0.8	11.8	45.8	41.8	5,812	4.3
(6) 授業は『講義要項』に沿って行なわれましたか。	2018		0.5	2.6	26.2	36.3	34.4	7,436	4.0
	2019		0.9	1.2	16.8	49.7	31.4	7,533	4.1
	2020		0.4	0.9	10.0	48.4	40.3	5,812	4.3
(7) 授業はよく準備されていましたか。	2018		0.4	2.0	14.5	32.3	50.8	7,438	4.3
	2019		0.8	1.7	10.0	45.5	41.9	7,533	4.3
	2020		0.5	1.0	5.5	43.2	49.0	5,812	4.4
(8) 毎回の授業の目標は明確になっていましたか。	2018		0.6	2.7	16.3	33.7	46.8	7,433	4.2
	2019		1.1	2.1	10.9	45.6	40.3	7,533	4.2
	2020		0.6	1.3	6.6	44.3	47.2	5,812	4.4
(9) 教員の説明は分かりやすかったですか。	2018		1.4	3.9	17.1	33.2	44.4	7,432	4.2
	2019		2.1	3.4	11.4	42.9	40.2	7,533	4.2
	2020		1.1	2.0	8.7	42.3	45.8	5,812	4.3
(10) 発見や感動などがあり、興味の持てる授業でしたか。	2018		1.1	3.8	18.7	36.9	39.5	7,430	4.1
	2019		1.7	3.1	13.3	42.8	39.1	7,533	4.1
	2020		0.8	1.8	9.3	43.5	44.6	5,812	4.3

◆授業評価（2020年度「学生による授業評価アンケート」の結果について）

2021年5月3日

2018年度_2019年度_2020年度 後期実施
「学生による授業評価アンケート」集計結果(実施全科目分)比較表

質問項目	年度	各選択肢の回答率(%)					度数	平均値	
		0	1	2	3	4			5
(11) 教員と学生の間にやりとりがあるなど、授業に活気がありましたか。	2018		1.1	4.4	22.4	35.7	36.5	7,427	4.0
	2019		1.3	2.8	14.8	42.6	38.5	7,533	4.1
	2020		0.8	2.3	11.8	41.3	43.9	5,812	4.3
(12) 教員の声は十分に大きく、明瞭な話し方でしたか。	2018		0.4	1.7	12.3	31.3	54.2	7,423	4.4
	2019		1.1	1.8	9.4	43.0	44.8	7,533	4.3
	2020		0.5	1.9	6.0	40.6	51.1	5,812	4.4
(13) 板書の仕方、パワーポイントの表示の仕方、プリントの用い方は適切でしたか。	2018		0.8	3.2	16.9	33.2	45.9	7,424	4.2
	2019		1.5	2.3	11.9	44.6	39.7	7,533	4.2
	2020		0.5	1.4	7.8	43.4	46.8	5,812	4.3
(14) 始業・終業時間を含め、時間配分は適切でしたか。	2018		0.8	2.4	14.3	31.9	50.7	7,424	4.3
	2019		1.4	2.1	8.9	45.9	41.7	7,533	4.2
	2020		0.4	1.3	6.5	44.5	47.4	5,812	4.4
(15) 教員の熱意を感じましたか。	2018		0.4	1.4	14.3	32.1	51.8	7,422	4.3
	2019		0.8	1.0	9.7	43.6	44.9	7,533	4.3
	2020		0.3	0.9	6.0	41.5	51.2	5,812	4.4
(16) 教員は、学生に公平に接していましたか。	2018		0.3	1.4	13.5	29.7	55.0	7,419	4.4
	2019		1.0	1.0	9.5	45.2	43.3	7,533	4.3
	2020		0.5	0.9	4.9	42.8	50.8	5,812	4.4
(17) テキスト、ビデオ、プリント資料などの教材は理解の助けになりましたか。	2018		0.7	2.2	15.4	33.4	48.3	7,419	4.3
	2019		1.0	1.4	10.9	44.6	42.1	7,533	4.3
	2020		0.5	0.9	6.0	43.3	49.4	5,812	4.4
(18) この授業にとって、教室の環境、設備などは適切でしたか。	2018		0.5	1.5	14.5	32.2	51.4	7,415	4.3
	2019		0.6	0.8	9.0	47.6	42.1	7,533	4.3
	2020		0.2	0.6	5.0	45.6	48.6	5,812	4.4
(19) この授業を総合的に1～5の5段階で評価してください。	2018		0.4	1.7	15.2	40.6	42.1	7,418	4.2
	2019		1.1	1.7	11.6	40.2	45.4	7,533	4.3
	2020		0.4	1.0	7.6	34.8	56.3	5,812	4.5
(20) この授業の主要な到達目標について、自分の達成度を1～5の5段階で評価してください。	2018		0.3	1.9	23.1	51.1	23.6	7,444	4.0
	2019		0.7	1.7	18.1	59.7	19.9	7,533	4.0
	2020		0.1	1.5	11.0	58.4	29.0	5,812	4.1

※「度数」:各質問項目の有効回答者数(2018年度は2019・2020年度と調査方法が異なる)

2020年度「学生による授業評価アンケート」の結果について

本学では、FD活動の一環として、毎年度前期・後期に「学生による授業評価アンケート」を実施している。授業評価アンケートの集計結果は、授業担当教員に還元され、各教員の授業改善に役立てられる。その証として、授業担当教員はアンケート結果を受けての自己分析と改善計画を授業改善報告書「授業改善に向けて」にまとめ、集計データとともに提出することになっている。

ここでは、過去3年分のデータを用いて、2020年度（令和2年度）の集計結果について分析する。前期・後期とも、ここ3年間で授業の出席率は向上している（項目1）。推測の域は出ないが、向上した理由としては、新型コロナウイルス感染症対策で、前期2週間の休校措置期間や体調不良者の登校自粛期間の授業については欠席扱いとせず、授業の代替措置（課題等）で対応したこと、サークル等の学外活動の制限、学外実習の学内実習への変更による、事前訪問などの公欠の減少等の影響が考えられる。しかし、出席率の向上自体は、学生の積極的な学びの姿勢を示すものとして、歓迎すべきことである。

項目2～5は、学生の自己評価に関わる部分であるが、ここでも前期・後期とも3年間で平均値が向上している。学生自身の自己評価が高いことは、それ自体評価できるだろう。2018年4月にUNIVERSAL PASSPORT (UniPa)を導入し、受講登録をWEB上で行うようになったが、学生のシラバス参照の度合いが確実に上がってきている（項目2）。予習・復習の履行率も向上している（項目3）。授業内容の理解度も向上している（項目4）。受講態度も良くなっている（項目5）。これらはあくまで自己評価であり、実態とは別であるかもしれないが、学生の自己認識のあり方として望ましいと思われる。また、達成度自己評価（項目20）の全体平均値は4.1であり、この値も3年間で最高である。詳細は別記する。

授業についての項目（6～19）も、ほとんどの項目で昨年度と同じかそれを上回っている。特に後期はすべての項目で3年間の最高値を示している。全体としてみれば、本学の教育の質の向上を示すデータである。個々の教員の授業改善努力、組織的FD・SD活動、教務課・学生支援課職員の業務改善努力を始め、学習成果に焦点を合わせて実践してきた本学すべての教職員の努力が、ここに来て実を結びつつあるのかもしれない。これからの教育の質向上に努め、すべての学生に充実した学びの場を提供していきたいものである。

令和3年5月27日
鹿兒島女子短期大学FD・SD委員会

◆授業評価(学科別「学習の達成度自己評価」)

2021年5月3日

2020年度学習の達成度自己評価(全学科一般教養)

一般教養科目DP

- ①主体的に学び、多様な考え方に触れ、柔軟な思考ができる。
- ②自己を高めるとともに、他者との関わりを良好に保つことができる。
- ③地域への関心を深め、地域活性化の担い手として課題解決に意欲的に取り組む。
- ④社会や文化に対して関心を持ち、広い視野に立って、社会に参画する力を持つ。

2020年度入学1年生(前期)

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	7	340	4.3	1	0.3%	1	0.3%	30	8.8%	187	55.0%	121	35.6%
②	6	341	4.1	1	0.3%	7	2.1%	33	9.7%	202	59.2%	98	28.7%
③	2	145	4.1	0	0.0%	1	0.7%	22	15.2%	77	53.1%	45	31.0%
④	6	236	4.1	0	0.0%	5	2.1%	33	14.0%	129	54.7%	69	29.2%

2020年度入学1年生(後期)

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	6	108	4.2	0	0.0%	2	1.9%	8	7.4%	63	58.3%	35	32.4%
②	7	296	4.2	1	0.3%	5	1.7%	27	9.1%	162	54.7%	101	34.1%
③													
④	5	152	3.9	0	0.0%	5	3.3%	31	20.4%	86	56.6%	30	19.7%

2019年度入学2年生(前期)

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	2	152	4.2	0	0.0%	0	0.0%	17	11.2%	90	59.2%	45	29.6%
②	1	5	4.2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	80.0%	1	20.0%
③													
④	1	5	3.8	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	4	80.0%	0	0.0%

2019年度入学2年生(後期)

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①													
②	3	139	4.5	0	0.0%	0	0.0%	8	5.8%	51	36.7%	80	57.6%
③	2	193	4.3	0	0.0%	1	0.5%	11	5.7%	113	58.5%	68	35.2%
④	2	38	4.0	0	0.0%	2	5.3%	3	7.9%	26	68.4%	7	18.4%

2021年5月3日

2020年度学習の達成度自己評価(児童教育学科)

児童教育学科DP

- ①(教育・保育に必要な専門性)教育・保育に必要な専門的な指導力を習得するとともに、それらを活用・実践する力を有する。
- ②(課題解決能力)教育・保育の課題解決に必要な思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力・人間関係調整能力等を有し、現場で実践できる。
- ③(豊かな人間性)教育的な情熱や使命感・倫理観をもち、社会の変化に対応しながら、理想の教育・保育を目指して探求し向上しようとする態度を有している。

2020年度入学1年生(前期)

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	15	1,732	4.2	2	0.1%	27	1.6%	145	8.4%	1,093	63.1%	465	26.8%
②													
③	5	803	4.0	3	0.4%	26	3.2%	135	16.8%	457	56.9%	182	22.7%

2020年度入学1年生(後期)

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	13	1,227	4.2	1	0.1%	20	1.6%	120	9.8%	736	60.0%	350	28.5%
②	4	450	4.3	0	0.0%	3	0.7%	31	6.9%	237	52.7%	179	39.8%
③	4	404	4.1	0	0.0%	3	0.7%	43	10.6%	256	63.4%	102	25.2%

2019年度入学2年生(前期)

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	18	1,130	4.0	8	0.7%	17	1.5%	162	14.3%	671	59.4%	272	24.1%
②	10	279	4.2	0	0.0%	2	0.7%	37	13.3%	154	55.2%	86	30.8%
③	1	168	4.0	0	0.0%	1	0.6%	30	17.9%	103	61.3%	34	20.2%

2019年度入学2年生(後期)

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	18	1,014	4.2	3	0.3%	5	0.5%	70	6.9%	605	59.7%	331	32.6%
②	3	122	4.2	0	0.0%	0	0.0%	9	7.4%	77	63.1%	36	29.5%
③	4	114	3.6	3	2.6%	7	6.1%	38	33.3%	52	45.6%	14	12.3%

2020年度学習の達成度自己評価(生活科学科:生活福祉専攻)

生活科学科生活福祉専攻DP

- ①(専門的知識・技能)介護福祉士及び医療・福祉事務に関する実践的かつ体系的な専門知識と技能を修得している。
- ②(主体的・創造的な課題解決能力)修得した専門知識と技能を活かして、地域社会の実態を踏まえ、自主的・創造的に貢献する能力と意識を持っている。
- ③(人間関係形成力とコミュニケーション能力)倫理観と責任感を持ち、コミュニケーション能力と協働性を身につけ、多様な問題に臨む社会人としての態度を身につけている。

2020年度入学1年生(前期)

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	12	72	4.2	0	0.0%	2	2.8%	8	11.1%	37	51.4%	25	34.7%
②	1	7	4.1	0	0.0%	0	0.0%	2	28.6%	2	28.6%	3	42.9%
③													

2020年度入学1年生(後期)

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	11	68	4.3	0	0.0%	4	5.9%	3	4.4%	31	45.6%	30	44.1%
②	3	18	4.4	0	0.0%	0	0.0%	2	11.1%	7	38.9%	9	50.0%
③	1	6	4.2	0	0.0%	0	0.0%	1	16.7%	3	50.0%	2	33.3%

2019年度入学2年生(前期)

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	7	39	3.7	0	0.0%	1	2.6%	9	23.1%	29	74.4%	0	0.0%
②	5	30	3.6	0	0.0%	1	3.3%	9	30.0%	20	66.7%	0	0.0%
③	1	5	3.6	0	0.0%	0	0.0%	2	40.0%	3	60.0%	0	0.0%

2019年度入学2年生(後期)

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	8	56	3.9	0	0.0%	0	0.0%	8	14.3%	47	83.9%	1	1.8%
②	5	35	3.9	0	0.0%	0	0.0%	6	17.1%	27	77.1%	2	5.7%
③	3	22	3.8	0	0.0%	0	0.0%	4	18.2%	18	81.8%	0	0.0%

2020年度学習の達成度自己評価(生活科学科:食物栄養学専攻)

生活科学科食物栄養学専攻DP

- ①(食物・栄養に必要な専門性)健康の基盤となる食物と栄養に関する専門的な知識と技能を修得し、時代と社会の要請に応える力を有する。
- ②(課題解決能力)習得した食に関する知識と技能を活かし、地域や現代社会の食に関わる身近な課題を見出し、それを解決に導くために求められる能力を有する。
- ③(豊かな人間性)食に関する幅広い知識・興味・関心に基づき、人が健全な食生活を送るために、他者と目的を共有し、協働できるように自らを高めることができる。

2020年度入学1年生(前期)

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	14	350	3.9	0	0.0%	12	3.4%	68	19.4%	198	56.6%	72	20.6%
②													
③													

2020年度入学1年生(後期)

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	13	316	3.8	0	0.0%	16	5.1%	88	27.8%	151	47.8%	61	19.3%
②	3	76	4.0	0	0.0%	1	1.3%	16	21.1%	38	50.0%	21	27.6%
③	1	5	4.2	0	0.0%	0	0.0%	2	40.0%	0	0.0%	3	60.0%

2019年度入学2年生(前期)

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	7	130	3.9	0	0.0%	3	2.3%	29	22.3%	75	57.7%	23	17.7%
②	7	133	3.9	0	0.0%	1	0.8%	28	21.1%	82	61.7%	22	16.5%
③	2	5	3.8	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	4	80.0%	0	0.0%

2019年度入学2年生(後期)

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	8	52	4.1	0	0.0%	0	0.0%	6	11.5%	37	71.2%	9	17.3%
②	5	50	4.1	0	0.0%	1	2.0%	5	10.0%	33	66.0%	11	22.0%
③	5	37	4.0	0	0.0%	0	0.0%	6	16.2%	26	70.3%	5	13.5%

◆授業評価（2020年度「学習の達成度自己評価」の結果について）

2021年5月3日

2020年度学習の達成度自己評価(教養学科)

教養学科DP

- ①(専門的知識や技能)現代社会に求められる知識及び技能を活用する実践力と情報を収集・分析・発信する情報活用能力を身につけている。
 ②(コミュニケーション能力)他者に共感し、コミュニケーションスキルを活かして行動する社会性を身につけている。
 ③(グローバル社会への理解)異文化とグローバル社会への深い理解のうえに、広い視野に立った国際性を身につけている。

2020年度入学1年生(前期)

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	12	565	3.9	4	0.7%	14	2.5%	124	21.9%	330	58.4%	93	16.5%
②	2	86	3.8	0	0.0%	1	1.2%	28	32.6%	48	55.8%	9	10.5%
③													

2020年度入学1年生(後期)

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	12	268	4.1	0	0.0%	5	1.9%	35	13.1%	157	58.6%	71	26.5%
②	4	143	3.9	0	0.0%	4	2.8%	33	23.1%	79	55.2%	27	18.9%
③	1	35	4.1	0	0.0%	0	0.0%	5	14.3%	23	65.7%	7	20.0%

2019年度入学2年生(前期)

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	11	218	4.1	0	0.0%	3	1.4%	22	10.1%	134	61.5%	59	27.1%
②	2	65	4.2	0	0.0%	0	0.0%	4	6.2%	47	72.3%	14	21.5%
③	4	183	4.1	1	0.5%	2	1.1%	16	8.7%	127	69.4%	37	20.2%

2019年度入学2年生(後期)

DP	科目数 (講義別)	総回答者	平均 回答	①ほとんど達成 できなかった		②あまり達成 できなかった		③最低限 達成できた		④おおむね 達成できた		⑤十分 達成できた	
①	10	159	4.1	0	0.0%	2	1.3%	15	9.4%	107	67.3%	35	22.0%
②	5	119	4.3	0	0.0%	1	0.8%	1	0.8%	81	68.1%	36	30.3%
③	8	90	4.2	0	0.0%	0	0.0%	6	6.7%	63	70.0%	21	23.3%

2020年度「学習の達成度自己評価」の結果について

本学では、毎年度、前期・後期に「学生による授業評価アンケート」を全科目で実施し、その中で具体的な自己評価項目に加え(1~5)、学習成果に関して達成度自己評価の項目(20)を設けて質問している。そのデータは、一方で、全学科共通の一般教養科目群及び学科・専攻別の専門科目群に分けて集計・分析し、集団としての学習成果の達成度を測るために用いられる。他方、各学生の自己評価は、個人データとして指導教員に配布され、日頃の修学指導に利用されている。

以下は、直近2年間の全学科共通のデータと学科・専攻別のデータに基づいて、分析を行った結果である。

【一般教養科目(全学科共通)】

「学生による授業評価アンケート」に関する分析で述べたように、一般教養科目の達成度自己評価の値は5段階の平均4.1と、前の年から0.2ポイントも上昇している。しかし、前・後期を通じて、1年生(2020年度入学学生)の中に、①ほとんど達成できなかった、②あまり達成できなかった、と答えた学生が延べ29名いる。学習の内容や方法について、気軽に質問・相談のできる修学支援体制の構築が望まれる。

【児童教育学科】

児童教育学科の1年生では、すべてのDPについて、2019年度より平均値が上がっている。(2年生については、2018年度と2019年度ではポリシーが変更されたため、単純な比較ができない。)2年生後期のDP③を除き、達成度は4以上と高い。しかし、⑤十分達成できたと答えた学生が、2年生後期のDP③を除いて20パーセント超であるのに対し、①ほとんど達成できなかった、②あまり達成できなかったと答えた学生の延べ人数は、前後期合わせて、(割合は低い)1年生85名、2年生46名であり、学力の二極化が解消されていない実態がある。

2. 授業公開

< 授業公開週間実施内容 >

実施期間	参観 科目数 (延 べ) 26	専任 教員数 43	(単位:名)	
			授業参観記録 提出教員数 30 (1名:5科目提出)	備考 (教員内訳) 児童教育:12/21名 生活:8/12名 教養:6/10名
2020年 11月4日(水)~11月17日(火)				

◆授業公開週間について①「お知らせとお願い」(2020年度全教職員メール連絡)

授業公開週間についてのお知らせとお願い

村若 修
2020/10/26 (月) 10:17
宛先: 全教職員

教員各位

FD・SD委員長 村若 修

お知らせとお願い

歳末というにはまだ早いものの、何かと気忙しい時候となっております。
さて、下記の予定で授業公開週間が始まります。授業力向上のため、自らの授業にたいする
他者評価は重要な資料ともなりますので、公開へのご理解、ご協力のほどをよろしくお願い
申し上げます。つきましては、教員メールボックス脇に用意した「後期時間割」に、実施予
定の授業で公開を不可とする授業の部分のみバツ(×)印をつけていただきますようお願い
します(一般教養科目等の同時開講科目は、お名前の部分に印をお願いします。)
なお授業参観の際は、実習その他による休講等があるため、事前に授業担当者へ参観希望
である旨をお伝え下されば幸いです。また参観は、授業開始時から終了時までとしますが、
場合によっては中途参観・退出でも構いません。

参観後は、参観の感想を11月24日(火)までに、サイボウズとOffice365でお知らせする
URLから、オンラインでご回答ください(公開授業報告書)。

記

平成30年度後期授業公開週間 11月4日(水)~11月17日(火)

概要: ①上記の期間中に授業の参観ができます。90分間に複数の授業を参観して
いただいても構いません。
②期間中は、「授業公開週間時間割」に条件が明示されていない限り、
授業担当者の許可なく入室できません。

参観後: ①参観者はオンラインでご回答ください(公開授業報告書)。
②報告書は1授業につき1件の回答となります。
③報告書は回収した後、科目毎にまとめ、授業担当者へお渡しします。
(ただし、コピーを1部、FD委員会で保管します。)

◆授業公開について②「授業公開参観記録(Microsoft Forms)提出依頼」(2020年度)

授業公開週間参観報告について

村若 修
2020/10/30 (金) 17:06
宛先: 全教職員

教員各位

11月4日開始の授業公開週間につきまして、お願いです。
予告しておりましたように、常勤の先生方は、授業参観報告を以下のサイトからお書きください。
よろしくお願いいたします。

https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=y9bmAywG5UvpA6_8V1PEVA03RDrbcplBqj1K1LEC5I9UMVIHVzRDWFpLUVdLU0RE5jXQjJBWERZMC4u

FD・SD委員長 村若

◆授業公開について③「授業公開参観記録(Microsoft Forms使用)」(2020年度)

2020年度「授業公開週間」参観記録 (11月実施)

*必須

1. (1) 記入者(所属学科) *

- 1. 児童教育学科
- 2. 生活科学科
- 3. 教養学科
- 4. 非常勤講師
- 5. 事務職員
- 6. その他

2. (2) 記入者氏名 *

3. (3) 参観科目名 *

4. (4) 参観科目担当者名 *

2/18/2021

5. (5) 参観月 *

a. 10月

b. 11月

6. (6) 参観日 *

7. (7) 参観曜日 *

8. (8) 参観時間 *

a. 1・2限目

b. 3・4限目

c. 5・6限目

d. 7・8限目

e. 9・10限目

9. (9) 参観授業についての感想 *

2/18/2021

◆授業公開実施報告 (2020年度)

2020年度 授業公開週間について (報告)

○実施期間：2020年11月4日(水)～11月17日(火)

○参観報告書提出者数

学 科	人 数	備 考
児童教育学科	12	(1名：5科目参加)
生活科学科	8	
教養学科	6	
合 計	26	(総提出数：30)

○参観科目一覧

(保) 人間関係の指導法	WE LOVE 鹿児島! (児童教育)	子どもと音楽II
子ども家庭支援の心理学	社会的養護内容I	小学校教職実践演習
総合的な学習の時間の指導法	体育実技 (児童教育)	保育内容 (表現) の指導法
幼児理解	こころからだのしくみII (精神)	介護過程IV
給食管理	教育方法・技術	食品学各論
ウェブデザインII	カウンセリング入門	キャリアデザインI
プログラミング	メディア文化論	情報技術と社会
図書館サービス概論	日本語表現法II	介護の基本III

○参観報告 (内容)

参観者の感想から抜粋する。「ディスカッションの機会が良く設定されている」「高い専門性」「学生が主体的に取り組める」「丁寧な各学生一人一人ひとりへのご指導」「科目間の繋がりも、意識できた」「他の学科の取り組み方法について学ぶことが出来た」「留学生に対して、日本語の漢字と意味の理解を丁寧に指導」「学生と対話しつつ講義を進めていた」「プレゼン資料をその場で写真に撮り、それをスクリーンに映してすぐに発表しやすい環境を作っていた」「スクリーンにバーチャルピアノを映しての説明」「学生同士の教え合い」「学生の関心をひく内容」「学生の興味関心を引き留めるための準備」「先生の説明はわかりやすく楽しい」「とても面白い授業」「プリントだけでなく、説明用のスライドや実際のWeb画面、映像資料など多様な資料が準備され」「それぞれ自分たちで進めているのが大学生らしい」「[プレゼン]の機会をより多く設けることで、就活や社会人になってからも有益」「盛り上がりのある授業」「学生が飽きないように授業を組み立てて」「マスクを外している学生」「コロナ対策のむずかしさ」「コロナ対策もしっかりできていた」「小さい教室は密に近い」

○まとめ

設定期間が短かく、一部実習期間と重なった影響もあつてか、教員43名中、授業を参観できたのは26名で、実施率は60%に留まった。同じ専門分野の授業を選ぶ人もいれば、全く異なる分野の授業を選ぶ人もいたが、ほとんどの参観者は批評的な眼差しよりも学びの姿勢で感想を述べていた。自分自身の授業を振り返るよい機会になったのではないか。他方、授業者は後で参観者の感想を読み、自分では意識していない自分の授業のよさに気づくことがあったかもしれない。いずれにせよ、教員同士が互いの教育内容を知り、啓発しあうことは、教育の質向上に資すること疑いなしである。これだけ多彩な教員陣を持つ短期大学は数少ない。今後も授業公開週間が効果的に実施されることを望みたい。(FD・SD委員長)

3. FD・SD研修会

<FD・SD研修会内容>

- ・FD・SD研修会（遠隔授業関連①）
 テーマ：「Microsoft Office365の利用に関する教員向け説明会」
 2020年4月24日（金） 10:30-12:00 （南館502号室・研究室）
 （講師：児童教育学科 講師 渡邊光浩先生）
 参加者：28名
- ・FD・SD研修会（遠隔授業関連②）
 テーマ：「Teamsでの動画撮影と動画配信」
 2020年5月1日（金） 15:00-16:30 （南館502号室・研究室）
 （講師：児童教育学科 講師 渡邊光浩先生）
 参加者：31名
- ・2020年度第1回FD・SD研修会
 テーマ：「本学における遠隔授業について」
 2020年7月2日（木） 教授会終了後（16:30-17:30）（本館402号室）
 （講師：児童教育学科 講師 渡邊光浩先生）
 参加者：65名
- ・2020年度第2回FD・SD研修会
 テーマ：「オンライン教育の可能性と課題」
 2021年3月4日（木）（13:00-14:00）（各教員研究室・事務室等）
 （講師：明星大学 准教授 今野貴之先生）
 参加者：本学全教職員

◆2020年4月24日（金）「FD・SD研修会」（遠隔授業関連①）



◆FD・SD研修会（4/24）：連絡（全教職員メール）

Office365説明会について

副学長 村若 <unipa-oshirase@shigakukan.ac.jp>

2020/04/21（火）16:16

宛先: unipa-oshirase@shigakukan.ac.jp

サイボウズ等ですでお知らせしておりますが再度ご連絡です。

教職員の皆様

Office365を利用して、休校中、学生へ資料提供する方法を、みなさんと共有したいと思います。

つきましては、渡邊先生による説明会を開催いたします。

日時：24日（金）10:30～11:15

場所：南館502

無線でも有線でも対応できるそうです。ご自分のノートパソコンをお持ちになればその場で操作もできるそうです。

3密は避けるよう取り計らいますので、奮ってご参加ください。

私も参加の予定です。

副学長

本日24日（金）の説明会について

渡邊 光浩

2020/04/24（金）9:18

宛先: 全教職員

渡邊です。

本日10:30からのOffice365説明会についてご案内いたします。

リアルに参加する方は南502にお集まりください。3密を避けて座るように座席が準備されています。

多くなった場合には会場を南601に変更することも考えています。

Teamsで参加される方は全教職員のグループに入り会議のスケジュールがあるのでそこから入れます。会議予定のメールもいったと思うのでそちらのリンクからも入ることができます。参加されない方はメールやスケジュールからの案内はスルーしてください。

Zoomで参加される方はこちらです。

<https://zoom.us/j/92920838330?pwd=N2F5M091Um1rUnBLRVc>

ミーティングID: 929 2083 8330

パスワード: jkajyo

ではよろしくお願いいたします。

◆2020年5月1日(金)「FD・SD研修会」(遠隔授業関連②)



◆2020年7月2日(木)「2020年度第1回FD・SD研修会」



◆FD・SD研修会連絡(5/1): 全教職員メール&資料(PowerPoint 抜粋)

Teams説明会

村若 修
2020/04/30 (木) 17:03
宛先: 全教職員
皆様
とくに教員の皆様

休校措置延長の可能性に鑑み、渡邊先生からのご提案で、急遽、Teamsでの動画撮影と動画配信について説明会を開いていただけることになりました。

日時: 5月1日(金) 15:00~16:00
場所: 南502(またはご自宅や研究室)
リアルで参加可能+Teamsで参加可能な方は奮ってご参加ください。

詳細は渡邊先生から届って連絡があります。
前回の研修ではTeamsの詳細までご説明いただけなかったため、ぜひこの機会に。
なお、今後を考え、連休明けにも説明会の開催を計画中です。

FD・SD委員長 村若

遠隔授業
メディアを使って授業をする場所は大学でなくてもOK
ただし、次の【どちらか】を満たさないと認められない

A 同時かつ双方向に行われるもの
B 対面でないなら、授業を行う先生が指導補助者が授業の終了後、インターネットなどで疑問解答、添削指導、質疑応答等の十分な指導をあわせて行いかつ、授業に関する学生の意見の交換の機会を確保

■オンデマンド方式で行う授業の進め方
遠隔授業を実施する基本的な指針をネットワーク教室では次のように考えています。

- ・教員がそれぞれの授業、受講している生徒の状況に合わせて教材を用意し、マイクソフトのワンドライブ等に教材をアップロードし、ネット経由で視聴可能に(YouTubeなどの動画サイト利用も限定公開で利用可とする)
- ・UniPaから学生に課題内容と教材のアドレス、視聴方法を告知
- ・学生はスマホあるいは自宅PCで課題を行う(自宅にネット接続、PCがない場合は南棟501の利用を申請して可とする)
- ※申請受付: 南501教室の施設管理は教務課にて課外提出、教員への留用はjyoメールをベースに、教員、受講生徒の編成が整っている場合はマイクソフトTeams、Zoomなどで行う。

以下の内容を教務課に検討・依頼したくお願いたします。
(1)室に対する室数、502使用申請に関する対応方法と告知。
(2)南501,502の接続、必要に応じて換気、消毒などの対応。

◆FD・SD研修会連絡(7/2): 全教職員メール&当日資料(レジュメ抜粋)

FD・SD研修会のお知らせ

岩元 久乃
2020/06/30 (火) 12:14
宛先: 全教職員
各位

FD・SD研修会のお知らせ

FD・SD研修会を下記のとおり行います。
皆様、ぜひご参加ください。

日時 令和2年7月2日(木) 16:15~17:15 予定
場所 本館402
演題 本学における遠隔授業について
講師 渡邊光浩 講師

*研修の中でデモンストレーションを行います。
参加希望の方は、学内のWi-Fiがつながる設定が終わっているパソコンをご持参ください。

7月2日 FD・SD研修会後アンケート

渡邊 光浩
2020/07/02 (木) 17:25
宛先: 全教職員
渡邊です。
本日のご参加、ありがとうございました。
事後アンケートをよろしくお願いたします。
教員の皆さんは必ずお答えいただくことになっております。
職員の皆さんも1と4にお答えいただけるとありがたいです。

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=y9bImAywG55Uy>

FD・SD研修会後アンケートについて

村若 修
2020/07/15 (水) 13:06
宛先: 全教職員

教員各位
7月2日のFD・SD研修会には、教員の皆様全員ご参加いただきありがとうございます。
先週末までの事後アンケートの回収状況は教員30名にとどまっています。
ご回答がまだの教員の皆さんは、アンケートに必ずご回答ください。皆さんの通信環境の把握のためでもあります。
どうぞよろしくお願いいたします。

FD・SD委員長 村若

20200702FD・SD研修アンケート

* 必須

* このフォームでは名前の記録を行います、名前を入力してください。

1. 本日の研修の感想をお聞かせください。 *

2. 休校中の2回の研修で受講したものにチェックを入れてください (オフライン・オンラインの区別もお願いします)。

- 4月24日(金) Office365について(リンク共有等) 会場参加
- 4月24日(金) Office365について(リンク共有等) オンライン参加
- 5月1日(金) Teamsについて(ビデオ会議、動画撮影等) 会場参加
- 5月1日(金) Teamsについて(ビデオ会議、動画撮影等) オンライン参加

3. 休校期間及びその後のオンラインツールの使用状況を、なるべく具体的に教えてください。
(UniPa, メール, OneDriveファイル共有, Teams[チャネル, 課題, ビデオ会議, チャット等], Microsoft Forms, Googleフォーム, Zoom, Meet, LINE, Slack) *

4. 自分の授業・業務での活用の可能性を挙げてください (休校対応に限りません)。
*

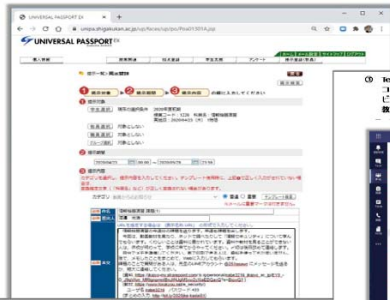
オンデマンド方式で行う本学の授業の進め方

- 教員のそれぞれの授業、受講している学生の状況に合わせて教材を準備する
- Office365のOneDriveなどに教材をアップロードし、ネット経由で閲覧可能にする (YouTubeなどの動画サイト利用も設定公開で利用可とする)
- 授業や課題の内容と教材のアドレス、閲覧方法等の告知は UniPa をベースに行う (教員、受講学生の環境が整っている場合は Microsoft Teams などでも可とする)
- 学生はスマホあるいは自宅 PC で授業を受講し、課題に取り組み (自宅に機器やネット接続がない場合は専修 501 の利用を申請して可とする)
- 課題提出、教員への質問は短メールをベースに行う (教員・受講学生の環境が整っている場合は Microsoft Teams などでも可とする)

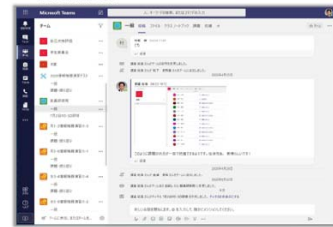
授業の型	Ba: 講義資料・提示	Bb: 録画授業	Bc: 同時双方向型 (リアルタイム配信)	A: 対面授業 (ライブ)
時間	指定なし (オンデマンド)		授業時間 (リアルタイム)	
事前準備	配布資料・提示資料	配布資料・提示資料 授業の録画	配布資料・提示資料 授業の録画	配布資料・提示資料 授業の録画
告知	資料 URL 配信用・交流用 URL	資料・動画配信 URL 配信用・交流用 URL	資料・動画配信 URL 配信用・交流用 URL ビデオ会議 URL	資料 URL ビデオ会議 URL
必要な指導・交流	十分な指導を行っていただく ※配信用、配信録画、配信録画 課題提出とそれに対する助言 学生の意見交換の機会の確保		以下の事項を配慮することが必要 ※リアルタイム配信 授業中、教員と学生が映像・音声でやり取り 質問の機会を確保	

2. 動画授業・テレワークで用いるツール

(1) UniPa (Universal Passport)
「権限の取得」を使って、資料の閲覧や録画などを確認することが出来る。
遠隔授業の場合、資料や動画配信、配信用・交流用、ビデオ会議の URL を発信できる。



(2) Teams
1:1、グループチャット、ビデオ会議、共有のドキュメントなどのチーム間で業務を進める。
教員は授業用の「クラス」を作成することが出来る。
クラス (授業用チーム)



- チャネル (会議の集まり)

- ビデオ会議

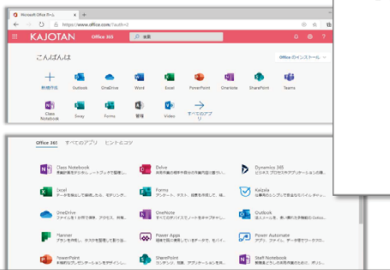
- Web ミーティング

- テレカン 等等



(2) Office365 (Office, 正しくは Microsoft 365)

Microsoftが提供しているサブスクリプション (年間) サービス。月額によってサポート、本が利用できる。AI という機能のため、オンラインとオフラインの Office メール、Excel、データを保存する OneDrive (クラウドストレージ)、コミュニケーションツールの Teams やチャット、共有できる Forms、動画配信の Stream など多くのアプリが利用できる (1人1台は、サブスクリプションをインストールする)。



FD・SD研修「本学における遠隔授業について」報告書

情報ネットワーク室

1. 概要

- ・実施日: 2020年7月2日(木)
- ・参加者: 65名
- ・アンケート回答: 42名(事務局4名を含む)

2. これまでの研修の参加状況

- ・4月24日(金) 28名(会場参加16名 オンライン参加10名 両方2名)
- ・5月1日(金) 31名(会場参加18名 オンライン参加13名)

3. 休校期間及びその後のオンラインツールの使用状況

Unipa30名, メール16名, フォーム12名, ビデオミーティング11名, LINE10名
Teams7名, OneDrive ファイル共有6名, 動画配信5名

4. 研修内容

- 遠隔授業とは
- 学生対象の遠隔授業に関するアンケート調査の結果
- 調査結果を踏まえた本学の遠隔授業の運用方針
- 改正著作権法第35条運用指針
- 遠隔授業・テレワークで用いるツールの紹介
- 質疑応答

5. 受講後の主な感想

- ・非常にニーズに合ったものだった。
- ・基礎的なことを含め、遠隔授業の在り方を確認できる機会となった。
- ・Teamsを実際に操作することで、活用方法を知ることが出来てよかった。
- ・少しずつだが、いろいろな機能や用語に慣れてきて、自分の業務のスタイルに合ったものを活用していきたいと思っている。
- ・授業で実践されているものを示していただけだったので、とても参考になった。少しずつでも取り入れてみたいと考えている。
- ・著作権のことなどが不安だったが、今回の詳しい説明で理解することができた。
- ・学科や委員会での業務がはかどるように発展的な利用も可能だと感じた。
- ・使えるツールが沢山あることが理解出来た。それをどう使うのが学生にとって便利で学習上も効果的なかは整理する必要があるなど思った。
- ・遠隔授業について、学生のネット状況等を考慮して行わなければならないと改めて認識した。

- ・初めて参加する方には、適切な内容だったと思う。自分もいっしょに復習になった。どんなことができるか、実際に見てもらっただけでも大きな意味があったと感じる。
- ・後半の時間が短くて、もう少し詳しく聞きたかった。
- ・実践例が、分かりやすく説明されていたので良かったが、どれもこれもとなると、ほとんどやっていない先生には消化不良だったのではなかったかと思った。
- ・自分の知識、能力が追いつかずせっかくの研修についていけないことが非常に残念。もっと勉強したい。
- ・ツールが多すぎて自分自身使いこなせていないのと、学生たちも混乱している点があるのではないかと少し思った。他大学の様子を聞いていると、教員同士でのツールはzoomのみ、学生とのやりとりはteamsのみ、といった話を聞いたことがある。今は色々なツールを試している期間なので仕方ないと思うが、ツールを限定することも必要なのではないかと感じた。
- ・フォームでのアンケートの作り方など、基本的なことが学べる場があるとありがたい。

6. 研修を終えて

これまでに行った希望者が参加した研修は、遠隔授業に関する基本的な理解から始め、4月はフォームによる振り返りやテストの作成とTeamsのチームやチャンネルを使ったやり取り、5月はビデオミーティングについて、自分のコンピュータやスマートフォンを使って実際に操作してもらった。いずれは自分でチームやチャンネルを作ったり、ビデオミーティングを設定したりできるようにならないと遠隔授業はできないのだが、まずは準備されたチームやビデオミーティングで、自分で操作を体験してみるところから始めたのは好評だった。

今回は、FD・SD研修ということで教員・事務の両方が対象であったこと、もともと知識・技能に差がある上に、4・5月の研修に参加された方も受けるということで、どこまでの内容を扱うかが難しかった。

遠隔授業に関する基本的な理解から、本学学生の状況、それを踏まえた運用方針、改正著作権法、遠隔授業やリモートワークで用いるツールの紹介までの幅広い内容を扱うことにしたが、感想を見ると、それぞれが参考になったようで良かった。

学生のことを考えると、ツールを絞り込む必要があるというのはその通りだが、今回は、既に様々なものを使える状態に準備してあることを知っていただくのがスタートだと考えた。今後、遠隔授業にならなかつたとしてもツールを活用していき、絞り込みを図っていきたい。

後半のツールの紹介に時間をかけて欲しかったという感想や、アンケートの作り方などを知りたいといった感想もあるが、今回は全員参加の研修となるので、実際の運用の詳細や操作の練習まで扱うことはできなかった。それぞれでできることからツールを活用してもらい、操作説明の動画を視聴してもらったり、希望者を対象とした研修を行ったりするようにしたい。

◆2021年3月4日(木)「2020年度第2回FD・SD研修会」



◆FD・SD研修会連絡(3/4):全教職員メール&当日資料(一部抜粋)

令和2年度 第2回FD・SD研修会

オンライン教育の可能性と課題

1年間のリモート授業を通して見てきたもの

講師:今野貴之准教授(明星大学)
教育工学が専門で、早(から)オンライン授業に取り組んでこられた先生です。

日時:3月4日13:00~

場所:各研究室にてオンラインで参加
注)現在、使用するソフトをzoomにするかTeamsにするか検討中です。決まり次第連絡します。また、どちらのソフトも使ったことがなく、接続に不安があるようでしたら、近藤先生や渡邊先生、内田までお声がけください。今後、いつ休校になってもオンライン会議やオンライン授業に対応できるようにするために、この機会に必ず使えるようになるようがんばりましょう!!!!!!
最初の一步さえ踏み出せばあとは絶対大丈夫です!

準備物:オンライン接続できるパソコンかタブレット
(カメラ、マイク付きの必要があります)
Zoom、Teamsへアクセスし、オンライン会議に参加できる技能

第2回FD・SD研修会ご案内(教員向け)

対象: 全教職員

先生方

3月4日13:00に予定しているFD研修会に際し、再度使用するZoomについてのご案内です。今回のFD研修会は、オンライン授業やオンライン会議への対応を想定して、教員が各自の研究室で受けることになります。その際、「Zoom」というオンライン会議に特化したアプリケーションを使用します。Zoomを使うことにより、リモートで会議や授業を円滑に行うことができます。ですので、各先生方各自のパソコンまたはタブレットにZoomをインストールしていただくことになります。インストールの方法につきましては、下記のサイトに詳しく載っています。

<https://www.zendesign.co.jp/blog/how-to-use-zoom>

Zoomの機能を効果的に使用するために、タブレットやパソコンにウェブカメラが付いていること、又は外付けのカメラやヘッドセットが必要になります。お手数をおかけしますが、ご留意ください。

Zoomの使い方やその他のオンラインでの研修で疑問点等ありましたら、内田先生までご連絡いただけたら、インストールやその他、ご準備の手助けいたしますので、遠慮なくご連絡ください。

FD-SD委員長 村吉

第2回FD・SD研修会ご案内(教員向け)

内田 啓祐

2021/03/04 13:00

対象: 全教職員

みなさま

お状態になっております。内田です。

3月4日に予定しておりますFD・SD研修会のZoomのホームは、以下のURLから入ることができます。13時開始となりますので、当日は12時30分を過ぎたら、下のURLをクリックし、パスワードを入力してご参加ください。よろしくお願いたします。

追加FD・SD研修会
日時:2021年3月4日 01:00 PM
Zoomミーティングに参加する
<https://us02zoom.zoom.us/j/86556196648?pwd=VFk0OHk2aUJlREU1dUJkaTl0OT09>
ミーティングID: 865 5619 6648
パスコード: jkalyo

オンライン授業とその配慮

— 2020年の経験を踏まえたご提案 —

明星大学 教育工学研究センター 今野貴之

御品書

1. 本日の目的
2. オンライン授業のポイント
3. Zoomを用いた授業
4. 課題の工夫
5. 授業のルールづくり
6. 「授業」として認められる要件
7. オンライン授業における著作権問題

1. 本日の目的

1. オンライン授業を学生の立場から受講するイメージがもてる
2. オンライン授業のポイントを理解する

オンライン授業は「対面授業のオンライン版」ではありません。
「オンライン授業」という概念で、教員の授業力も別物になります。

ブレイクアウトルームを体験しましょう

- ・ いまから3~4人のグループに分けます
*ブレイクアウトルームという機能です
- ・ グループ別になったら自己紹介をしてください
- ・ グループで一番、
明るい服を着ている人: 司会役
暗い服を着ている人: 記録役

ブレイクアウトセッションを体験しましょう

- ・グループで「**辛いもの定番料理**」をひとつ決めてください
- ・制限時間は**3分間**です
- ・ヘッドセットが使えない場合はチャットでコミュニケーションをとってください

こちらからみなさんの画面をコントロールします。「**ブレイクアウトルームに参加する**」をクリックしてください。

5. 授業のルール作り

- ❖オンライン授業中に学生が提出できる課題には限界がある
 - ・これまで授業中に紙に書かせていたことは、○時分までにチャット欄に記入させるなど工夫してください
- ❖教員からの問いかけに、学生は Zoom の「非言語的なフィードバック」機能で答えることができる
 - ・「挙手」「はい」「いいえ」「拍手」など Web上の管理画面で「非言語的なフィードバック」をオンに設定すると使えます。「参加者の管理」ウィンドウでフィードバックを確認できます
 - ※ チャットでの質疑応答を認めるか否かは各自ご判断ください
- ❖次回の授業についての指示は明確に

◆2020年度第2回FD・SD研修会報告

令和2年度第2回FD・SD研修会（アンケート報告）

1. 概要

実施日：2021年3月4日（木）

2. 内容

明星大学今野准教授を講師にお招きし、1年間のオンライン授業の体験を踏まえた遠隔授業の実際と課題、そして可能性についてお話しいただいた。研修はオンラインで行われ、全参加者が個別に Zoom を用いて参加した。具体的な内容についてはストリーミング配信で確認することができる。

3. アンケート集計結果（アンケート回答者数 44 名）

【Q1】 今日の内容で、授業・業務に活用してみたいと思ったこと

- ・オンライン授業を実際に行ってみたくなった
- ・集中力の持続時間を念頭に置いた授業作りが必要
- ・15～20分以上の情報伝達には向かない
- ・15分を1つのセッションとし、必要な情報はパッケージ化して組み立てる授業
- ・課題の出し方の工夫、特に理解しやすい説明表現が必要
- ・時間配分を計画的に行い、学生たちが飽きない、興味が持続する授業を準備したい
- ・講義だけでなく、会議や諸連絡、研究などでも活用していきたい
- ・大人数になればなるほど受け身になりがちだが、ブレイクアウトセッションを用いることで参加者間の気づきや学びを共有することができ、グループワークを効果的に行うことができることがわかった
- ・自分がホストになってミーティングをしたことがないので、やってみたいと思った
- ・実習・演習系の授業でも活用できるよう多くの経験を積んでいく必要がある
- ・入試・広報課でも、Web ページでの一方的な説明や電話対応での音声のみの説明ではなく、Zoom 等でわかりやすく伝えることができるかもしれない

【Q2】 もっと知りたいと思ったことや不安や課題だと思ったこと

- ・効果的な動画の作り方
- ・オンデマンドでの学生対応について
- ・具体的な実践例や授業展開
- ・反転学習の効果的なやり方
- ・Teams や WebEX など別システムの特徴
- ・授業を行いながら学生管理を並行して行う方法
- ・対面授業とのバランス

◆2020年度第2回FD・SD研修会アンケート（Microsoft Forms 利用）

20210304 FD・SD研修アンケート

* 必須

* このフォームでは名前の登録を行います。名前を入力してください。

1. 今日の内容で、授業・業務に活用してみたいと思ったこと*

2. もっと知りたいと思ったことや不安や課題だと思ったこと
特になければ、この欄には何も書かずに次の質問に進んでください。

3. その他の感想

特になければ、この欄には何も書かずに次の質問に進んでください。

4. 後期授業や業務で使ったオンラインツールにチェックを入れてください。*

- Unipa
- メール
- Zoom
- OneDriveファイル共有
- Teams アプリ (課外活用)
- Teams 課題
- Teams オンライン会議
- Teams フォット
- Microsoft Forms
- Google Classroom (授業支援)
- Google ドライブファイル共有
- Google Meet (オンライン会議)
- Google フォム
- LINE
- 全く使っていない
-

5. 上記のオンラインツールを使った感想や課題
特になければ、この欄には何も書かずに、提出してください。

【Q3】 その他

- ・研修内容がわかりやすく、資料も充実しており有意義な時間だった
- ・オンラインの講義を体験することが楽しく感じられた
- ・受講者目線で疲れにくいということ、授業担当者も根を詰めすぎず体調をキープできることの大切さを再確認できた

【Q4】 授業や業務で使ったオンラインツール

UniPa	36名	Microsoft Forms	11名
メール	36名	Google Classroom	1名
Zoom	24名	Google ドライブファイル共有	2名
OneDrive ファイル共有	14名	Google Meet	3名
Teams チャンネル	10名	Google フォーム	9名
Teams 課題	9名	LINE	20名
Teams ビデオ会議	10名	その他	4名
Teams チャット	9名	全く使っていない	0名

【Q5】 オンラインツールを使った感想や課題

- ・回答の集計や管理が楽になった
- ・LINE でのやり取りが一番学生のレスポンスが良かった
- ・様々なツールがあり、デジタル迷子になったが、短大の担当者の先生と相談でき、丁寧に対応していただいた
- ・Unipa は学生連絡等使いやすいが、夕方以降や土日に承認をもらえる仕組みにしないとコロナ禍の急な事態に対応できない
- ・あまりにツールが多いと、学生がどれを使えばいいのか混乱する
- ・それぞれのツールに一長一短があり、どの組み合わせが良いか模索している

4. 休校中の授業・生活に関するアンケート

1. 実施期間：2020年4月～5月
2. 回答者：2020年度全学科1年・2年生
3. アンケート内容（Microsoft Forms 使用：一部聞き取り調査）

休校中の授業・生活に関するアンケート

休校が延長になった場合、ネットで資料や動画などの教材を配信したり、ビデオ会議システムで双方向の授業が行われたりすることになると思います（多くの場合、スマホでの参加も可能になると思います）。また、学校のことに限らず、不安に思っていることもあるのではないかと思っています。

機器やネットに関することと、学校生活やその他に不安なことはないかのアンケートに答えてください。回答は1回しかできないので、よく確認してから最後の[送信]ボタンを押してください。

アンケートに回答した後、その内容を鹿女短のメールで受け取ることができます。鹿女短のメールの受信の仕方がわからない人は、近いうちにユニバで説明するのでそれまで待ってください。

* 必須

* このフォームでは名前の記録を行います、名前を入力してください。

1. 名前 *

2. 学科 *

- 児童教育学科
- 生活科学科
- 教養学科

5/11/2021

3. 学年 *

- 1年
 2年
 それ以上

4. 自分専用で持っている機器（複数選択可） *

- ①コンピュータ
 ②タブレット・iPad
 ③スマホ（iPhone）
 ④スマホ（Android）
 ⑤ガラケー
 ⑥持っていない（①～⑤が全てない場合）

5. 家に自分が使えるコンピュータかタブレット・iPadがありますか *

ここでの「家」は、アパートや寮などを含め、休校期間にいたるところ。自分専用でなくても「ある」でいいですが、家族が仕事や学校などに持って行くなどして、授業の時間帯に自由に使えない場合は「ない」にしてください

- ある
 ない

6. 家で自分が使えるコンピュータかタブレット・iPadが「ある」と答えた人、その機器のネット接続はどうなっていますか *

- コンピュータかタブレット・iPadのネットは無制限
 コンピュータかタブレット・iPadのネットは制限あり（1か月で／3日で／1日で〇ギガなど）
 コンピュータやタブレット・iPadはあるが、ネットにつながっていない

5/11/2021

7. スマホを家のWi-Fiにつなぐことができますか *

「家」は休校期間中にいるところ

- スマホをWi-Fiにつなぐことができる
 スマホをWi-Fiにつなぐことができない
 スマホは持っていない

8. スマホのデータ通信の契約はどうなっていますか *

通話ではありません

- 無制限
 制限あり（1か月で／3日で／1日で〇ギガなど）

9. 家にプリンターはありますか *

「家」は休校期間中にいるところ

- ある
 ない

10. 授業を受ける環境が整わない場合、短大の開放も検討しています。開放した場合、利用を希望しますか。 *

なお、印刷物の提出は学校再開後で構いません。プリンターだけ使用という場合は開放を利用しないでください。

- はい
 いいえ

5/11/2021

11. 郵送やネットによるこれまでの課題への取り組みで困っていることがあれば、書いてください

なければ書く必要はありません

12. これからの郵送やネットによる授業が行われることに関する不安や希望があれば、書いてください

なければ書く必要はありません

13. 今、学校生活・体調面・心理面など、不安なことがあったら記入してください

なければ書く必要はありません

5/11/2021

14. 最近、気分が落ち込んだり、不安な気持ちが続いたりして、誰かに相談したいと思
っていますか*

相談したいと思っている

相談しなくても大丈夫

<聞き取り用紙>

休校中の授業・生活に関するアンケート

休校が延長になった場合、ネットで資料や動画などの教材を配信したり、ビデオ会議システムで双方向の授業が行われたりすることになると思います（多くの場合、スマホでの参加も可能になると思います）。また、学校のことに限らず、不安に思っていることもあるのではないかと考えています。

機器やネットに関することと、学校生活やその他に不安なことはないかのアンケートに回答してください。アンケートに回答した後はホーム担当の先生に提出してください。

1.名前 _____

2.学科

()児童教育学科

()生活科学科

()教養学科

3.学年

()1年

()2年

()それ以上

4.自分専用で持っている機器（複数選択可）

()①コンピュータ

()②タブレット・iPad

()③スマホ（iPhone）

()④スマホ（Android）

()⑤ガラケー

()⑥持っていない（①～⑤が全てない場合）

5.家に自分が使えるコンピュータかタブレット・iPadがありますか

ここでの「家」は、アパートや寮などを含め、休校期間にいるところ 自分専用でなくても「ある」でいいですが、家族が仕事や学校などに持って行くなどして、授業の時間帯に自由に使えない場合は「ない」にしてください

()ある

()ない

6.家で自分が使えるコンピュータかタブレット・iPadが「ある」と答えた人、その機器のネット接続はどうなっていますか

()コンピュータかタブレット・iPadのネットは無制限

()コンピュータかタブレット・iPadのネットは制限あり（1カ月で/3日/1日でギガなど）

()コンピュータやタブレット・iPadはあるが、ネットにつながらない

◆「休校中の授業・生活に関するアンケート」(遠隔授業に関する機器の準備状況に関して) 結果報告

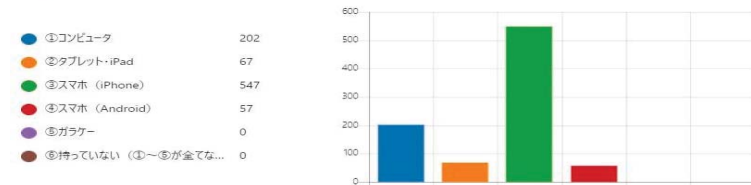
- 7.スマホを家のWi-Fiにつなぐことができますか (「家」は休校期間中にいるところ)
 スマホをWi-Fiにつなぐことができる
 スマホをWi-Fiにつなぐことができない
 スマホは持っていない
- 8.スマホのデータ通信の契約はどうなっていますか
 通話ではありません
 無制限
 制限あり (1カ月で/3日で/1日でギガなど)
- 9.家にプリンターはありますか (「家」は休校期間中にいるところ)
 ある
 ない
- 10.授業を受ける環境が整わない場合、短大の開放も検討しています。開放した場合、利用を希望しますか。(なお、印刷物の提出は学校再開後で構いません。プリンターだけ使用という場合は開放を利用しないでください。)
 はい
 いいえ
- 11.郵送やネットによるこれまでの課題への取り組みで困っていることがあれば、書いてください
 なければ書く必要はありません
- 12.これからの郵送やネットによる授業が行われることに関する不安や希望があれば、書いてください
 なければ書く必要はありません
- 13.今、学校生活・体調面・心理面など、不安なことがあったら記入してください
 なければ書く必要はありません
- 14.最近、気分が落ち込んだり、不安な気持ちが続いたりして、誰かに相談したいと思っていますか
 相談したいと思っている
 相談しなくても大丈夫

■アンケート回答状況と結果

	児童教育学科		生活科学科		教養学科		1年計	2年計	過年度	総計
	1年	2年	1年	2年	1年	2年				
在籍数	188	197	48	50	63	66	299	313	4	616
回答数	184	197	46	45	63	63	293	305	2	600
回答率	97.9%	100.0%	95.8%	90.0%	100.0%	95.5%	98.0%	97.4%	50.0%	97.4%
学科在籍数	385		98		129					
学科回答数	381		91		126					
学科回答率	99.0%		92.9%		97.7%					

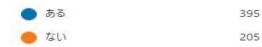
自分専用で持っている機器 (複数選択可)

詳細



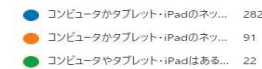
家に自分が使えるコンピュータかタブレット・iPadがありますか

詳細



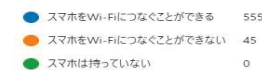
家で自分が使えるコンピュータかタブレット・iPadが「ある」と答えた人、その機器のネット接続はどうなっていますか

詳細



スマホを家のWi-Fiにつなぐことができますか

詳細



スマホのデータ通信の契約はどうなっていますか

詳細



家にプリンターはありますか

詳細



授業を受ける環境が整わない場合、短大の開放も検討しています。開放した場合、利用を希望しますか。

詳細



- まとめ
- 遠隔授業になった場合、約3分の1はスマホで受講
 - そのスマホもデータ通信が無制限ではない場合が多い
25歳以下無料（現在7月末まで）
ドコモ・au・ソフトバンク・Y!モバイル 50GB、UQ 30GB
ただし、遠隔授業+αが3日で10GB超えることも
容量を超過した場合 128kbps~1Mbpsの速度制限
 - プリンターがない学生が約42%
 - 短大を開放した場合、利用を希望する学生が約39%

■アンケート結果を踏まえた本学の遠隔授業の運用

- 教員のそれぞれの授業、受講している学生の状況に合わせて教材を準備する
- Office365のOneDriveなどに教材をアップロードし、ネット経由で閲覧可能にする
(YouTubeなどの動画サイト利用も限定公開で使用を可とする)
- 授業や課題の内容と教材のアドレス、閲覧方法等の告知はUniPaをベースに行う
(教員、受講学生の環境が整っている場合はMicrosoft Teamsなどでも可とする)
- 学生はスマホあるいは自宅PCで授業を受講し、課題に取り組む
(自宅に機器やネット接続がない場合は南棟501の利用を申請して可とする)
- 課題提出、教員への質問は短大メールをベースに行う
(教員・受講学生の環境が整っている場合はMicrosoft Teamsなどでも可とする)

授業の型	講義資料・提示	録画授業	同時双方向型 (リアルタイム配信)	対面授業 (ライブ)
時間	指定なし(オンデマンド)		授業時間(リアルタイム)	
事前準備	配布資料・提示資料	配布資料・提示資料 授業の録画	配付資料・提示資料 授業の録画	配付資料・提示資料
告知	資料 URL 指導用・交流用 URL	資料・動画配信 URL 指導用・交流用 URL	資料・動画配信 URL ビデオ会議 URL	資料 URL ビデオ会議 URL
必要な 指導・交流	十分な指導を合わせ行うことが 必要 設問解答、添削指導、質疑応答 課題提出とそれに対する助言 学生の意見交換の機会の確保		以下の事項を配慮することが 望ましい 授業中、教員と学生が映像・音声で 質問の機会を確保	

* あとがき *

2020年度は全国の大学にとって試練の年でした。都市部の多くの大学が遠隔授業に切り替える中、本学は学内の授業を対面授業中心に進めました。当初、この方針に学内外から疑問の声が上がったのも事実です。1年間、学内での感染の連鎖を一度も見ずに、いわば無事に教育・研究活動ができたのは、大きな感染拡大のなかった鹿児島県の地の利もあったとは思いますが、運も味方につけながら、本学教職員は新型コロナウイルス感染症対策に全力で取り組みました。4月20日～5月6日の休校措置、多くの学外実習の学内実習への切り替え、施設設備の感染拡大予防措置などさまざまな経験をしながら、教育の質の確保に努めました。

FD活動も、例年のものに加えて、遠隔授業や休校中の代替課題への対応に関する研修が大きなウェイトを占めました。FD研修会は、SD研修会と合同で4回実施され(p.26)、いずれも遠隔授業に関連する内容でした。これらに参加することで、一部教員の遠隔授業への抵抗感もある程度払拭されたように思います。また、休校時には「休校中の授業・生活に関するアンケート」(p.39)を実施し、遠隔授業に向けて学生の機器環境等を調査しました。その結果、およそ1割の学生について、遠隔授業を受けるための環境が整っていないことなどが判明しました。

学生による授業評価(p.1)は、UNIVERSAL PASSPORT(UniPa)によるアンケートが定着し、学年間の比較も容易になってきています。2020年度は、ほとんどの項目で平均値が向上しています。何よりも、学生の達成感が向上している点は喜ぶべきことですし、実際に授業が分かりやすく、おもしろくなってきていると言えるでしょう。年度末にアセスメント・ポリシーが承認されましたが、達成度自己評価と客観的な学習成果の獲得状況に正の相関があることを期待します。教員相互の公開授業(p.22)も、例年通り実施されました。期間が短かったせいもあって参観率が低く、実施方法の改善を図る必要があります。

今後も、時代を先取りする創造的な教育を目指して、ともすればマンネリに陥りがちなFD活動をさらに活性化させたいものです。

FD・SD委員長 村 若 修

「鹿児島女子短期大学FD活動報告書」
(2020年度版)

鹿児島女子短期大学FD・SD委員会
(2021年5月発行)